

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

ニュース 第20号

品川区、「適正規模」の名のもとに・・・

3つの小中学校を1つの小中一貫校に「統廃合」計画、許せません。



東大教授で日本教育学界の会長をつとめる佐藤学氏が創設から関わっている、茅ヶ崎市の浜之郷小を視察してきました。できればこのニュースでも詳しく報告したいのですが、とにかく、現場の教師に信頼を寄せて励ましながら進めている教育改革には感動！でした。

少子化なのに...
少人数学級やらない。
少子化なのに...
保育園に入れない。



漫画：安藤たい作

→裏面に「お知らせ」
があります！

学校統廃合という重大問題を、わずか二日の間に独断で決める区のやり方は、最も教育という場にふさわしくないやり方ではないでしょうか？

重大なのは、今回の「決定」が事前に教育委員会にも、私の所属する文教委員会にも全く報告がないうちに進んだことです。予算発表時(7日)の資料にもそのことは一言もなし。そのわずか二日後、9日に保護者に配られた資料

の中で、荏原二中の「統廃合」が発表されたのでした。

わづか二日の間にいったい何が？
今回荏原西地区の小中一貫校に加えるとされた荏原二中は創立59周年。そして統合される平塚小も戦前の尋常小学校時代から数え73年もの歴史を持ち、地域に支えられ親しまれてきました。何よりもまず地域と関係者の皆さんの声をしっかりと聞き、結論を出すべきです。その結果によっては計画を中止してもよいではありませんか。

区は「小中一貫校六校構想」を持ち、品川を大崎、品川、荏原東・西、大井、八潮の六地区に分け、それぞれに一校ずつ施設一体型の小中一貫校を作る計画です。区教委事務局は、学校選択制の導入にあたり「統廃合はしない」と公約してきましたが、これを反故にするものです。

区の公約は「統廃合なし」のはず

4月から大井地区に品川で二つめの小中一貫校「伊藤学園」が開校します。区はH20年には荏原西地区にも平塚中と平塚小を統合し小中一貫校の開校を目指すとしていました。ところが今月になって突然、これに近隣の「荏原二中も加える」と保護者に一方的に通知してきました。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て、'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。大崎在住。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。